

みんなの人権を考える映画会

映画「**こんばんは**」 **入場無料!!**

と き 2019年8月11日(日) 14:00~
と ころ 丹波篠山市民センター・多目的ホール



映画の舞台は東京都墨田区の夜間学級。

そこには様々な理由で「普通に学ぶ機会」を得られなかった人が学んでいる。教師と生徒の温かい人間関係、生きるために学ぶ真摯な姿、不思議なやさしさと温かさに包まれた、今まで出会ったことのないような学校があった…。

フィールドワーク参加者募集!!

- 行 き 先 丹波篠山市内東部の人権史跡を巡る
- 経 路 万葉半左衛門慰霊碑(現住)
- 柿の木地蔵(二ノ坪)
- 藤木幸助記念碑(泉)
- マリア観音像(大洲) 等
- 実 施 日 8月25日(日) 8:30~15:00
- 講 師 市同教団推進委員
- 参 加 費 1000円(昼食代)
- 定 員 20名(先着順)
- 申込受付 7月1日(月)~8月9日(金)まで
- 問 合 せ 丹波篠山市民センター(西紀支所3階)
(月・火・木・金 9時~17時)
TEL・FAX 079-593-1260



和尚さんたちがフィールドワーク

2019年2月に行われた曹洞宗兵庫第2宗務所(丹波・但馬地区)のフィールドワークを紹介します。

今回は、32名の僧侶の皆様が市内の人権史跡を巡り研修をされました。市同教団講師より講話の後、同慶別荘、篠山小学校にあった民族学級、市原村清兵衛顕彰碑、大対馬三郎義経、柿の木地蔵、マリア観音像を訪れました。

同慶の別荘、二ノ坪の柿の木地蔵では、全員でお経をあげられました。



人権史跡フィールドワーク やってみませんか?

人権史跡を知ることは、私たちの先人の生き様を知ることです。市内には、過酷な難敵に抗った人々の足跡や生活向上のために立ち上がった人々の碑、教育や文化の拠点など様々な史跡があります。

そうした史跡を巡って見ませんか?フィールドワークを希望される団体には、市同教団より、上限1万円の講師料を補助します。詳しくは市同教団までお問い合わせください。

お問い合わせ先: 丹波篠山人権同和教育研究協議会事務局
事務所: 丹波篠山市民センター240丹波篠山市役所西紀支所3階
☎079-593-1260

暮らしの中から

“家族”を感じていますか

連休終盤から暑みだいな症状がなかなか治らず、およそ1カ月近く、精彩を欠いた日々が続きました。

その最中の食事とき、小学1年生の子どもが「父ちゃん、チーズを食べたら元気になるんちゃう」と言い、いそいそと冷蔵庫からチーズを取り出してくれたのです。しんどいままだと進んでもらえないと、子どもなりに思ったのでしょう。親子の間柄でも、そう言われると嬉しいものです。家族って、ありがたいです。

最近、子どもと親への虐待、夫婦間の暴行など、「家族って何だろう」と考えてしまうような出来事が、報道されています。でも、事件が多すぎるのが、私たちが「またか」くらいで片付けているような気がします。加えて、「〇〇の対応が良かった」と、当事者(家族)以外の責任に言及している場合も少なくありません。

今から西半世紀前の1994年、国連により「国際家族年」が定められ、その指針に「家族からはじまる小さなデモクラシー」が掲げられました。言うなれば、「家族の義務」とか「家族の責任」といった意味合いが込められています。実は、その時から、家族の危機が囁かれていたのです。

子どもが成長するにつれ、何気ない日常にも、親は親として子どもは子どもとして果たしている役割や義務があることを、感じるようになってきました。3、4年前に祖父母が相次いで亡くなったことも、家族を考えるきっかけになっています。

ところで、もうひとつ嬉しいことがありました。自分のマイナス経験から、自動車を運転する妻や両親に対して「近いところまで気を付けや」とよく言うのですが、この前、父が「そう言ってもらってありがたいわ」と切り返すではありませんか。まあ、こっちは親子の間柄ですもんね…。

(安井 聡博)

免許自主返納~家庭内の話し合い~

高齢者が加害者となる交通事故が多発している。主に原因とされているのはアクセルとブレーキの踏み間違えといわれている。

平成10年から始まった「免許証自主返納制度」。私の両親も近年自主返納した。それに行きつくまでには、紆余曲折の話し合いがある。母には、「買物一緒に行くから」、ヘビースモーカーの父には、「たばこ買って来るから」などなど好条件を提示して納得した。

両親が免許証を自主返納したことを知人に話すと「えっ、両親認知症なん?」と返ってきた。自主返納するというのが、認知症というイメージなのかとショックだった。認知症という病気を理解していても唐突に言われたので大変驚いた。

自主返納は、医師の認知症・能力の低下の診断などがあれば説得しやすいが、警察であっても強制的には行えない。その言葉のとおり自身で考え、納得した上で返すということが「自主」という言葉が表している。

しかしながら、家族からすると危なかったらいいけない、他人に迷惑かけたらいいけない、けが・命の責任はとれないと思うのは当たり前。なかなか親に「返納したら」とも

言いにくいと思っている方もいるのではないだろうか。「買って来たから運転お断りよ」なんてなかなか言えない。もちろん自分もハンドルを握っているのだから言えない。

さわめて切実な問題なので、家庭内で話し合ってルールを決めるのも一つの方法かもしれませんね。

(西 ゆり子)

主な行事予定

- *7月27日(土)
兵庫県人権教育研究大会 丹波地区大会
四季の森生涯学習センター他
- *9月29日(日)
兵庫県人権教育研究大会 中央大会 豊岡市民会館
- *11月30日、12月1日(土・日)
全国人権・同和教育研究大会 三重県大会 津市
- *12月7日(土)
丹波篠山人権・同和教育研究大会 四季の森生涯学習センター他



編集委員紹介

安井 聡博 西田 乙子枝
西 ゆり子 堀見 秀司
中井 慎太郎 森田 貞二

本年度は2名の新しい編集委員を加えて、6名の委員で編集を行います。

皆様に頼まれる会報をめざして、紙面づくりに取り組みます。

編集後記

この度の、市名変更に伴い、本協議会においても「丹波篠山人権・同和教育研究協議会」と名称変更をしました。また、会報も「人権・同和教育だより 丹波篠山」と変更します。

5月には総会で活動方針・事業計画が決議されました。丹波篠山市民会館は、だれもが幸せに生きる人権尊重の社会づくりをめざして、住民や企業の皆様にご協力いただいた会費をもとに、研修会や研究大会を中心として教育・啓発に取り組んでまいります。

新組織のもと、さらに人権啓発活動を充実させていきます。皆様には、会費納入にご協力をたまわると共に、諸活動に積極的な参加をお願いします。